

岡山県

真庭市

デジタル地域通貨による  
地域活性化



人口 41,685人 面積 828.53 km<sup>2</sup>

都市の特長

中国山地のほぼ中央に位置しており、豊かな自然を有している。市北部には県内随一の観光地である蒜山高原があり、酪農が盛んである。市南部においては、近年木質バイオマス産業の中心地となっている。



真庭市  
MANIWA CITY

課題・背景

2023年1月に金融機関・商工会等の主体と協力し、デジタル地域通貨「まにこいん」を導入し、市内で流通させることで地域内経済循環の促進を図っている。しかし、現在は「まにこいん」の市外からの流入がないため、新しい活用方法や市外利用者の増加を促す仕組みが必要となっている。

施策の方向

市民のSDGs活動と経済活動を結び付ける仕組みや、来訪者がふるさと納税により体験プログラムを受けることで、コト消費・関係人口創出を促す仕組みを構築し、市民・来訪者等の行動変容を促していく。

01 デジタル地域通貨アプリの機能強化による地域コミュニティの活性化

人口減少・少子高齢化・過疎化などで衰退した地域コミュニティ機能を維持・強化するために、地域貢献活動へのインセンティブ(地域通貨付与)を導入する。2024年度は生ごみ等の分別収集推進へのインセンティブ付与を検討中である。

インセンティブ付与で生ごみの分別を促進



02 デジタル地域通貨での旅先納税機能による関係人口創出・体験プログラムの開発

旅先でふるさと納税でき、体験プログラム(プログラム開発も同時に実施)を受けられる仕組みを地域通貨に構築することで、観光客増加・コト消費促進を図る。また、帰宅後も真庭市の情報をアプリから届け、関係人口を創出する。

マウンテンバイクで蒜山の大自然を疾走



インタビュー

Interview

真庭市 総合政策部  
総合政策課 主任  
田島 吉章 さん

川田さんからは専門的な見地からデジタル地域通貨を用いた地域づくりのノウハウをいただいています。市民同士・市外の人とのつながり・助け合い・応援の輪を広げていくことで、幸福度が高く魅力的な中山間地域を作っていきます。

株式会社フィノバレー  
代表取締役  
川田 修平 さん

他地域での事例・経験を共有し、普及・企画活動を協力しながら進めています。仕組み(システム・ルール)だけではなく、土壌となるシビックプライドや豊かな地域コミュニティを醸成することで、助け合いの輪を活発にしていきたいです。



(左) 真庭市 総合政策部 総合政策課 主任 田島 吉章 さん

(右) 株式会社フィノバレー 代表取締役 川田 修平 さん

今後の展望

デジタル地域通貨により市民同士の助け合いの輪が生まれ、人口が減っても豊かな生活が送れる地域社会を創出するとともに、市外の人とのつながり・応援の輪も広げ、関係人口を創出していく。また、SDGsの理念に基づく活動が根付き、豊かな経済活動を生み出していくことができるようにしていく。

市の動物  
「オオサンショウウオ」がモチーフのアイコン

